

高齢者住宅火災 続報！ - 西日本防災システム

2013 12 01

11月30日夜に、ひたちなか市大平の高齢者向け木造2階集合住宅で発生した火災で、ひたちなか西署は1日に実況見分し、ガスファンヒーターの熱でスプレー缶が破裂して居室内に引火した可能性が高いとみて調べているそうです。

同署の発表によりますと、住宅には、2組の夫婦を含む男性5人、女性3人の計8人(69歳～87歳)が6部屋に入居していたそうです。出火当時、職員は現場に居らず、男性1名以外にけがなどは無く、関連施設に避難したようです。火傷を負った男性の居室は約26㎡のうち約13㎡が焼損しました。他の部屋への延焼はなかったようです。

実況見分では、部屋から殺虫剤と芳香剤のスプレー缶2本が、底が抜けた状態で見つかったそうです。部屋にはガスファンヒーターもあり、周辺住民が出火直前に爆発音を聞いていることなどから、同署はスプレー缶がガスファンヒーターの近くで加熱され、破裂したとみているようです。

スプレー缶の置き場所などにご注意ください！

参考 NEWS →



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ →